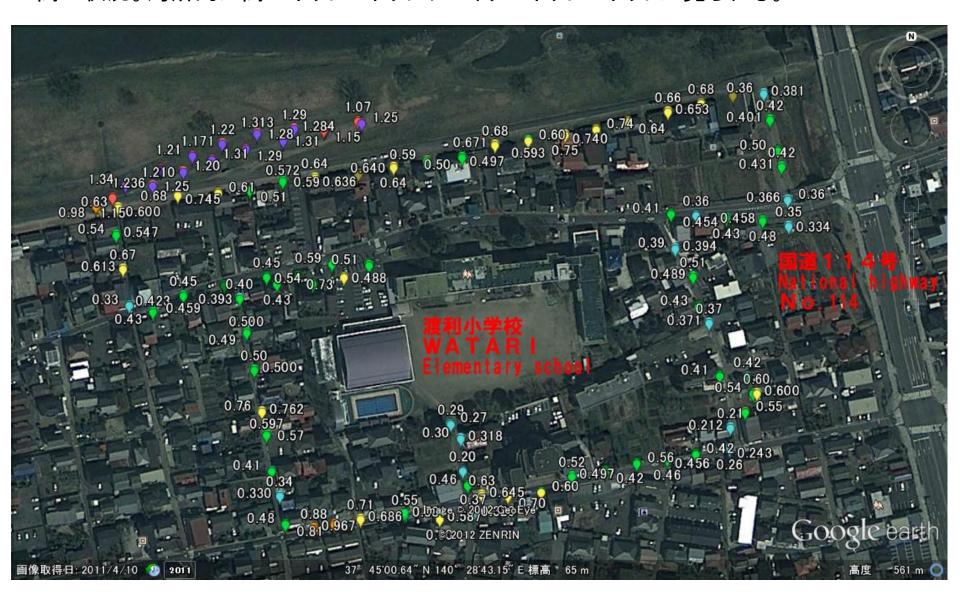
子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク

Fukushima Network for Saving Childrens from Ra



福島の現状と在住子ども支援について

学校の敷地内はおおむね除染されているものの、未だに通学路や生活環境は放射線の高い状況。局所的に高いホットスポットやマイクロホットスポットが見られる。



阿武隈川の河川敷やサイクリングロードは高い放射線量を示す。こうした場所を部活動や体育のランニングに使っている学校もある。保護者の中止申し入れは功を奏していない。





福島市渡利 学童教室前モニタリングポスト 距離比較 0m=0.31µsv/h·5m=0.575µsv/h·10m=0.733µsv/h

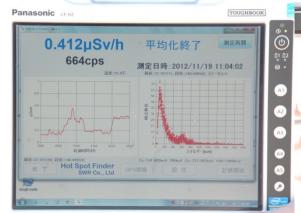


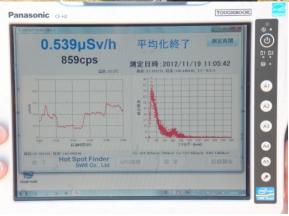


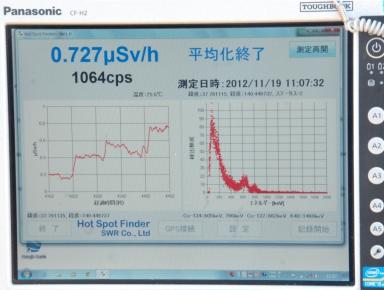














福島市南矢野目 北中央公園

モニタリングポスト 距離比較

0m 0.201µsv/h 5m 0.412µsv/h 10m 0.539µsv/h 他 0.727µsv/h

ガラスバッチ 積算予測

月	空間線量平均	ガラスバッチ	
3月	7.13µ Sv∕h	1.125mSv∕m	
4月	1.9µ Sv∕h	0.3mSv∕m	
5月	1.5µ Sv∕h	0.25mSv∕m	
6月	1.4µ Sv∕h	0.25mSv∕m	
7月	1.4µ Sv∕h	0.25mSv∕m	
8月	1.4µ Sv∕h	0.25mSv∕m	
9月	1.3µ Sv∕h	0.2mSv∕m	
10月	1.3µ Sv∕h	0.2mSv∕m	
11月	1.2µ Sv∕h	0.1mSv∕m	
12月	1.2µ Sv∕h	0.1mSv∕m	
1月	1.2µ Sv∕h	0.1mSv∕m	
2月	1.2µ Sv∕h	0.1mSv∕m	
平均/年	1.84µ Sv∕h	3.225mSv∕y	

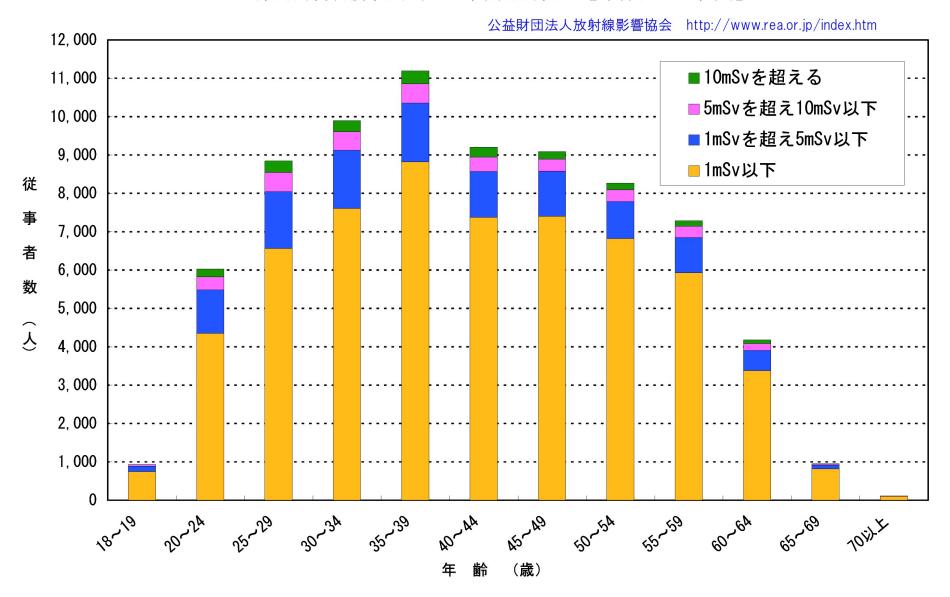
- ※空間線量平均は概算値です
- ※ガラスバッチ積算値は9月~11月の結果 を元にした推定です

2011年3月~2月の外部被曝積算推定 福島市内の一般的な児童で<mark>約3ミリSv/年</mark>



個人用報告書 個人用報告書 個人用報告書

2. 放射線業務従事者の年齢別線量 [平成21年度]



放射線を扱って仕事をしている労働者の年間被ばく平均は、多くが1ミリsv以下

毎 H 新 聞

22 2012年(平成24年)11月24日(土) 統12版 社 会

地面近くのホコリが舞い、セシウム付着。 背の低い子どもの呼吸は大丈夫?

2012年(平成24年)11月7日(水) 毎 日

し大根 汚染防げ

あんぽ柿や梅干しは、放

機械乾燥はセシウム未検出

ができる」と呼びかけている。

【深津誠】

ないように、生産方法に気をつければ安全な製品 原因」とする研究結果を発表した。 農業総合センターは「加工過程で付着したちりが

「ちりが付か

従って高くなった。 892
応と地面に近づくに それぞれ95%、 地面の3カ所で調べると、 す場所を高さ2以、同1以

165次、

ウムの検出が相次いだ切り干し大根について、 準値(1m当たり100份)を超える放射性セシ

切り干し大根の汚染は防げる

食品の新基

ち

りが

原

大

断

定

高くなる。このため「乾燥 から水分が抜けると、値が 射性セシウムが含まれた実

にしては値が高すぎるた

乾燥によって濃縮された

2月、切り干し大根から1 で販売自粛になった。 性セシウムを検出し、JA 新ふくしまの直売所

6カ所 当たり3000ドの放射 ところが、福島市で今年

を検出したことは無かっ れてきた。しかし、切り干食品は線量が高い」とみら ング検査で放射性セシウム は、これまで県のモニタリ し大根の原料の大根から 性セシウムは検出されなか 械で乾燥したものから放射 方法を変えて検査した。機 力所で取れた大根で、 ズムの研究を開始。県北6 め、県は今春、汚染メカニ 方、屋外や小屋など3

カ所で自然乾燥したものは の屋根の下89220♥軒下 新基準値を超えた。 松の木

話している。 をしているが、地面で干さ 可能性があるという。切り モや干しシイタケなどでも ないよう指導をしたい」と トごとにモニタリング調査 A新ふくしまは 「生産ロッ 産が本格化するといい、 同様の理由で高い値になる し大根は、年明けから生

りがたまりやすく値が高く なると考えられ、県はちり と放射性セシウムを含むち の値と相関関係があること か分かった。地面に近づく **楔出される放射性セシウム**

が原因と断定した。 屋外で乾燥させる干しイ

べると、切り干し大根から 看テープで採取して値を調 所ごとに飛散するちりを粘 この結果を受け、乾燥場

事例は十数件に上った。 までに、新基準値を超えた

地面で干さないよう指導へ

二本松市 子 供 0

被ばく量増加

昨年比・半数近く

が増えたことが23日、中学生が昨年より線量 く調査で、半数近い小 施した市民の外部被ば 福島県二本松市が実 された。市調査では空 務める独協医大の木村 放射線アドバイザーを 3割減っており、 間放射線量は昨年比約 市の 大きい子どもや妊婦は が増えたため。影響が や部活動など屋外活動 制限された体育の授業

市民への報告会で発表

真三准教授は「昨年は

と比べると、

かけている。【深津誠】

屋外活動増え 長期的に気を使うべき だ」と指摘している。 能な小中学生4344 分析した。昨年もデー 21人のデータを回 タがあり今年と比較可 収、年間線量を推計し つ、乳幼児~中学生と 月のうちの2カ月ず 人中1969人(45・ 妊婦ら8327人に個 八線量計を配布。67 今年の調査は6~8

が

所以

上も

増えて

い 加。うち46人は1・5 3%) は被ばく量が増 全体の平均値を昨年 摘。 の備えになる」と呼び とから、木村准教授は 『
対域の1・40 |
対
。 識が低下していると指 放射線から身を守る意 中学生4210人の76 ただ、今年調査した小 が万が一の健康被害へ 4667人も減ったこ 1 が 許を超えていた。 一般人に許容される年 調査人数が昨年より (3190人) は、 「記録を残すこと

27.540 (12日現在) 葛尾村上野川 (31%西北西) 6.641 (19日現在) 福島市杉妻町(62%北西) ※単位はラッネネ。 1 ラッネネは1000��ネネ。 カッコ内は福島第1原発からの距離。累積線量は昨年3月23日(福 品。 米優級量は11年3月26日(福 島市は同24日、いわき市は同25日、 葛尾村は4月8日)からの値。 ◆大気中の環境放射線量◆ 0.048 都道府県

福島第1原発周辺の累積線量結果 (文部科学省調べ)

浪江町津島仲沖 (30⁴-西北西)

浪江町赤宇木手七郎 (31⁴-北西)

飯舘村長泥(33%北西)

いわき市三和町差塩 (39㌔南西)

79.340 (19日現在)

184.360 (19日現在)

94.250 (19日現在)

2.428 (19日現在)

北海道 0.058 0.057

◆大気中の環境放射線量◆ が通線 21日 第 五 0.048 が高線 0.039 東京別 0.058 青寿 0.037 東奈別 0.058 岩宮 城 0.058 新 潟 0.056 城 0.058 斯 潟 0.056 山 0.058 山 長 阜 0.065 大 0.071 韓 岡 0.045 大 0.071 愛三 単位は200 ※文部科学省発表、単位は200 ※文部科学省発表、単位は200 ※文部科学省発表、単位は200 ※文部科学省発表、単位は200 ※文部科学省発表、一、300 ※文部分類での値。 青岩宫秋山福茨栃群 0.043 0.060 0.052 0.065 0.065 0.045 0.065 0.067

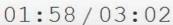
ら推計した高さ1気での値。

屋外での活動時間が増えることにより外部被曝線量が上昇。 除染を終えているとされる校庭での体育や部活動は大丈夫?









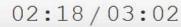
















ジュニア陸上教室に参加し体を動かす児童

設する。 や広場」 に同市森合の市保健福 福島市は毎週土曜日

ためにセンター を控える児童、 一安から屋外で 市は放射線に対する 「おもちゃ これま - 五階の 幼児の の遊び

> る。 ランティアらの協力 は五階大議室から六階 好評だったことやボ 常設することと 常設に伴い ットからボ 場所 ま

を六月から常

「おもち

に設けて

福祉セン

「おもちゃ広場」

午後三時まで。 土曜日の午前十 年会費百円で利用で 運営は月曜日から 時から

福島のジュニア陸上教室

を使用する。 月実施している。 込みがあるという。 回の全六回コースで、 にスタートし、ほぼ毎 中内の小学一~四年生 十二回目の教室には、 吊に定員を超える申し 二十二日に始まった 。昨年七月

丘競技場の屋内練習場 教室は市内の信夫ケ 動かしていた。

> いたい」と話している。 共に健康になってもら る。教室を通して心身 来月18日から

電話受け付け 次回教室

(1500)NNGF<0 次回の教室は七月三 「火曜日コー

多くの子どもらでにぎわう「おもちゃ広場」

いきり遊べない子供がいる中、 体を動かす楽しさを味わっている。 「走る」「跳ぶ」などの基本的な運動を通し、 陸上教室」が人気を集めている。 ツ振興公社が屋内で実施している「ジュニア 東京電力福島第一原発事故により屋外で思 福島市スポー 子供たちは

せながら、元気に体を えた。児童は笑顔を見 プ、ダッシュなどを教 まなジャンプやステッ グ器具を使い、さまざ め、ラダーと呼ばれる 市陸上競技協会の菊田 ストレス発散につなが はしご状のトレーニン 明博さんが講師を務 菊田さんは「運動は

日からの を受け付ける。 日から電話で申し込み 加入料含む)。六月十八 費は二千円(傷害保険 定員は各二十人。参加 曜日コース」。全六回で ス」と同四日からの「水

子どもの健全な成長発達を支援する

地震と原発事故を受けた複合災害時における対応

→ 子どもの権利の保障



全国の支援団体による保養プログラム 週末保養+長期休暇保養



学期期間中の教育保養プログラムクラス単位での『移動教室』

- ●担任が同行し、級友同士で行う安心感
- ●公平な参加の機会を保障する
- ●通常カリキュラム通りに学習
- ●空き教室利用!自然体験も!
- ●自立心や社会性を育てる機会
- 安全な食事・規則正しい生活で免疫力アップ
- ◆児童同士の交流~地域住民との交流
- ◆受け入れ側児童・教師にとっても学びの機会 (防災意識・まちづくりや新しい公共の観点)



◆ これからの展開 ◆

①原発事故子ども被災者支援法 市民会議

弁護士さんや支援団体さん、被災者さんと共に

個別法の制定に向けて議論~法制化を実現!

②与党WTや野党超党派議連との意見交換

復興予算を被災民へ!在住児童支援へ!

- ③311受け入れ全国協議会(2012.07.設立済み)
- 一時的な疎開や避難、保養を受け入れて下さっている全国の市 民活動団体との連携~協働
- ④311避難者全国協議会の設立へ

自主的避難の権利の確立~避難者自主組織のネットワーク化 (帰還の権利の保障)

原発事故 子ども被災者支援法

◎市民会議◎

- 1. 支援対象地域・範囲を考える班
- 2. 検診や医療について考える班
- 3. 在住者支援について考える班
- 4. 避難者支援について考える班
- 5. 広報(情報発信)班

日弁連やJCN(東日本大震災支援全国ネットワーク) との連携 ~ 超党派国会議員連盟との意見交換

市民会議からの声

「支援対象地域(§8)」の設定は年間1mSVを基準に

基本方針, 個別施策実施に当事者の声を

早期の予算確保で着実な支援を

求められる個別施策の充実

検討中 未定稿

支援対象	個別施策(例示)	条文根拠	予算(想定)	-	補足
全体	医療費減免	§13II	TBD	0	厚労省(環境省)に試算あるはず
	子どもの生涯健康診断	§13 II	TBD	0	厚労省(環境省)に試算あるはず
居住	学校給食の安全確保	§8 I II IV	TBD	0	福島県が一部先行実施
	自然体験活動等の保養	§8 I	TBD	0	民間団体が豊富な受け入れ実施
	子どもの屋内運動等支援	§8 II	TBD	_	郡山市内に大規模施設オープン
一部避難	家族の移動交通費支援	§8 I •§9	TBD	_ _	高速無料化の際に試算あるはず 新潟県は独自実施中
	家族と離れた子ども支援	§8 I •§9	TBD		
避難(帰還)	避難先住居の確保	§9	TBD	0	現在は災害救助法で手当て
	避難交通費の支援	§8	TBD	0	現在は災害救助法で手当て
	避難先での就労支援	§9	TBD	0	現在はほぼ対応なし
	避難先での学習支援	§9	TBD	0	現在はほぼ対応なし
	広域避難者支援の枠組 みづくり	§9	26億円?		JCNより具体的提案あり(次頁以降

移動教室と民間保養プログラムの拡充を目指して!

























2012.10.19.院内集会【参議院議員会館】 伊達市教育委員会・被災者・支援団体

想定されるタイムスケジュールとToDo

7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月

年度末で 受け入れ支援 打ち切りの危険

外部環境

基本方針策定への当事者・支援者の関与を求めていく

基本 方針 策定

基本方針策定?

個別 施策 実施

どんどん前倒しで個別施策実施を求めていく

個別施策実施?

予算項目として入れ込むよう求めていく

予算確保

概算要 求

来年度予算確定?

補正予算?

全国の市町村長のご理解

保養プログラムや移動教室 の継続的な実施へ! 子ども同士の交流実現へ!